



福岡県小郡市大板井1143-1

電話番号 0942-72-7221

FAX 0942-72-7222

そら

発行人

こぐま福祉会
「そら」編集委員会<http://www.koguma.ed.jp>

夏のあひだー

令和3年度がはじまり3か月が経ちました。少しずつ新しい環境にも慣れてきた子ども達。登園時に一人でお部屋に入ってきて朝の準備をしたり、お名前呼びでニッコリ笑ったり、保護者の方と離れて過ごしたりと日々子ども達のたくさんの成長が見られます。

いよいよ暑い夏が到来です。夏といえば水遊び。子ども達やお家の方と大きなプールに入って思い切り水遊びをしたいところですが、今年もコロナウイルス感染拡大防止のため残念ながら中止の方針となりました。

しかし新しい夏の遊びをたくさん出来るチャンスです。色とりどりの寒天を手で混ぜ、片栗粉や小麦粉で顔まで真っ白にして遊び、水遊びではひんやりとした感触を楽しみながら溶けた氷から出てくる宝物に期待をし、裸足になつて砂場に入って山を作り泥遊びをしたり：と夏だからこそできる感触遊びを今年も、たくさん楽しんでいきたいと思っています。

保護者の方からも「噴水シャワーしてみました」「家で水遊びをしました」とお家での夏遊びの様子を聞くこともあり子ども達の楽しむ姿を想像するだけで、とても嬉しくなります。

限られた設定の中ではありますが、子ども達の、キラキラと輝く笑顔をたくさん見られるように感染予防を徹底しながら「夏」を感じられる工夫を行っていきます。
(児童指導員 立山)

心の窓



生活介護事業所
愛らんど
豊太さん

結婚12年目に生まれ、3歳年上の姉と同じように成長すると信じ、幸せな子育ての始まりでした。心の窓は虹色でした。

1歳半を過ぎた頃より、姉の時と何か違う！2歳頃より、ワンワン・バイバイの発語が消え、遊び方が分からず、呼びかけに無反応、昼夜逆転、1日中不機嫌で、聖マリア病院を受診。自閉症ってなに？STの先生に「何もしなかったら、このままのお子さんですよ」と、こぐま学園を紹介され、パンフレットを頂きました。何度も読み返しました。20年前、療育の始まりでした。

こぐま学園のグループ、個別指導、幼児研究所、ロコミで知った療育センター、市や校区の子育て相談、母親学級、どう関われば良いのか、頑張れば、伸びる、もっと、それ以上伸びると信じ、必死でした。その時、窓は嵐でも全開だったかもしです。

就学相談の時、特別支援学校を進められましたが、地域の子どもたちと一緒に地域の中で育てたい思い



から、校区の小・中学校に入学しました。今思えば本人は相当きつい事が多かったでしょう。でも関わって頂いた特学の先生方、同級生や保護者の方に恵まれ、学年を超えて応援してもらい、勇気付けられました。卒業後も「ぶんちゃん」と同級生や父兄、地域の方々の声かけは、とても嬉しいです。

今、最初に出会った療育機関、こぐま福祉会、愛らんどに通所して5年目に成ります。面談等に依る家庭との連携や、きめ細かい指導、愛情あふれる関わりに深く感謝しております。大変な時もあり、御心配おかけする時もありますが今後とも、どうぞ宜しくお願い申し上げます。少しずつ、窓は開閉自由になっております。(豊太の母)

こぐまLINE



保育士 か 加峯

こども支援部で保育士として勤めさせて頂いております。加峯と申します。こぐま学園で働かせて頂く中での学びはとて多く、特に関わり方については仕事だけでなく、私生活にも活かせる部分が多いと感じております。3歳の息子がいるのですが、こぐま学園で働かせて頂くようになり、仕事の中で学べたことを参考に子育てすることを心掛けられるようになりました。

療育に来て頂いている御家族の方々の様子を見て、「私も頑張ろう」という気持ちにも繋がっていて、日々感謝しております。息子への接し方で反省することもよくあります。寝顔を見ている時や携帯で子どもの写真を見ては、こうしたらよかったなあ：と落ち込んで胸が痛くなる日もあります。

以前は高齢者施設に勤務しており、子どもと関わる機会はあまりなかったのですが、こぐま学園での仕事を通して子ども達の元気、成長を感じられることや、発見があることが楽しいです。

「できたね、楽しいね」を近くで感じられる時間を大切に、今後毎日子ども達や御家族の方と関わらせて頂きたいと思っております。

こぐまLINE



事務員 い 石橋

事務部に所属しております、石橋と申します。昨年までは、子どもの家の事務として、子どもの家に勤務しておりましたが、今年からは2階の職員室にて事務の仕事、1階にて受付をしております。

今までは子どもの家利用の方と、その勤務者として、接する機会がなかったのですが、受付で仕事をすることで、利用者の方や、保護者の皆さん、サポートをする多職種の職員スタッフをみて、たくさん学びがあり、私も事務の側面から力になればと感じる毎日です。受付での仕事は、失敗することも多く、反省することばかりですが、毎日、利用者の方の笑顔や言葉に癒され、励まされております。

私の好きなアドラーの言葉に「大切なことは共感すること。共感とは、相手の目で見、相手の耳で聞き、相手の心で感じることだ」というものがあります。人と関わる上で、自分の物差しでなく、相手の立場になり、物事を考えていくことを大事にしていきたいと考えております。

まだまだ未熟な私ですが、皆さんのお役に立てるように、力いっぱいサポートをしたいと思っておりますので、よろしく願います。

子どものオアシス「いづみ子どもの家」

こぐま子どもの家は、企業主導型保育事業になり、5年目を迎えます。企業主導型保育事業（定員18名）では、職員のお子さまと地域のお子さまの保育を行っています。

利用する子どもたちは、戸外遊びや散歩、感触遊び、季節ごとの制作などの様々な活動をして、日々過ごしています。

最初は、慣れずに泣いて抱っこされる事の多い子どもたちも慣れてくると活動に参加して楽しみ、笑顔が見られるようになります。そんな子どもたちの姿を見守り、これからは保護者と子どもの「安心の場所」でありたいと思います。

地域枠に若干空きがありますので、3歳未満で保育希望の方は、お声かけ下さい。

（保育士 伊東）

朝のおあつまり(^^)/

トロトロの片栗粉に
夢中！集中！

のりでぬりぬり
楽しいな♪

「感染対策しながら 熱中症対策を！」

昨年から続き、こぐま福祉会では新型コロナウイルス感染症対策を継続して行っております。ご利用者様、ご家族様含め関係者の皆様、日頃よりご理解・ご協力ありがとうございます。さて、当福祉会での感染症対策が始まり二度目の夏がやってきました。これから、熱中症のリスクが非常に高くなる時期です。

◎熱中症とは？

- ・ 熱失神（めまい、失神など）
- ・ 熱けいれん（手足がふるるなど）
- ・ 熱疲労（だるい、頭痛など）
- ・ 熱射病（高体温、意識消失など）

これらをまとめて熱中症とよばれます。

今回は、コロナ禍での熱中症対策のポイントをご紹介します。

① 暑さを避ける！

定期的な換気により、室内の気温調整が難しい状況になっています。換気を確保しつつ、エアコンの温度設定をこまめに調整していきましょう。また暑い日や時間帯は無理せず室内で過ごしましょう。特にお子様や車いすを使用時は地面からの照り返しが強くみられます。

② 適宜、マスクを外そう！

気温・湿度の高い中でのマスク装着は体温上昇の原因になります。屋外で

十分な距離（2メートル以上）を確保できる場合は、マスクを外しましょう。マスクを着用しているときは、負担が強い作業や運動を避け、こまめに休憩を行いましょう。

③ 水分補給しよう！

のどが渇く前に水分補給をしましょう。汗をかいていなくても、自然と体の中の水分が奪われています。大量に汗をかいた時は塩分も忘れずに、意識して水分補給しましょう。

④ 健康管理・運動をしよう！

日頃から体温測定や健康チェックを行い、無理のない範囲で運動を行いましょ。

◎外出する際は、保冷剤や暑さ対策グッズ（帽子、簡易扇風機など）を活用し、涼しい服装で、水分（お茶、スポーツドリンクなど）をしつかり準備していきましょう。

当園で保冷剤が必要になったり、具合が悪くなったりした時は遠慮なくスタッフに声をかけてください。

熱中症は、子どもも大人も誰でも起こり得ることです。みんなで、一緒に暑い夏を乗り越えましょう。

（看護師 大庭）



マスクの寄付を

いただきました

以前、就労移行支援事業 Work Step をご利用されていた方に、ご自身で手作りした子供用のマスクを寄付していただきました。現在は、縫製技術を得られる事業所に移り、デザインから縫い上げまで行うなど、最後まで取り組む姿勢が強みとなって発揮されています。

縫製の仕事はもともと得意だったわけではなかったのですが、ご本人の頑張りで前進しています。受付にて展示配布していますので是非ご覧ください。

(職業指導員 別府)



保護者学習会

《ダウン症に関する学習会》

これまでも定期的に学習会を行っていましたが、今年度は年齢別にて実施しました。6月10日(木)に0歳〜1歳児、7月8日(木)に2歳〜6歳児の保護者を対象に2回の学習会を行い、多くの方にご参加頂きました。お子様の年齢に合わせて必要なサポートは絶えず変化していきますので、日々の子育てや療育に役立つ情報をご提供させて頂きました。

(研修プロジェクトチーム 木下)

《発達障害に関する学習会》

今回は、3回シリーズにて学習会を企画し30名の保護者が参加されています。第1回目は、「特性について」をテーマとし保護者の皆様、熱心に受講して頂きました。感染症対策を行いながら残り2回、保護者の方に日々の子育てにつながる情報を提供できるように計画していきたいと思えます。

(研修プロジェクトチーム 木下)

《就学学習会》

毎年、年長児の保護者を対象に行っています。今年度は5月と6月に地域別に2回ずつ行いました。1回目は「就学決定までの流れと現在の教育制度について」、2回目は「保護者による経験談」でした。

この学習会を就学に向けて考える機会として頂ければと思います。

(相談課 市丸)

職員研修を行いました

6月30日(水)に1日休園とさせていただきます。いただき、職員研修を行いました。毎年『防犯・防災・虐待防止』の3点を中心に行っている職員研修です。今年の防犯研修は小郡警察署から講師をお招きし、不審者に関する事例など含めてお話しいただきました。「施設に不審者が入ってきたらどうする?」「不審者ってどんな人」など、思い込みで判断しない事が重要という事でした。

また、毎年訪れる『水害』の防災研修と、福祉施設では重要な『虐待防止』について職員間で見直す場としてディスカッションを行い、日頃の接し方が虐待へ向かわないよう再確認をする機会となりました。

今後も、より良い支援を行えるよう、研修を行ってまいります。

(研修委員 宇野)



環境整備報告



駐車場中央部分(車いす専用)の舗装工事を行いました。今までの砂利の路面が一部ではありましたが舗装を行い、車いすやバギーを利用されている方も移動しやすくなりました。

(事務部 宇野)

入退職者のご報告

入職 (入職日順)

毛利 幸子 (送迎添乗員) パート
椿 千鶴子 (生活支援員) 正職員
山川 孝治 (運転・営繕) 正職員
さだみつ 明 (運転) パート
貞光 明 (運転) パート
本村 修 (運転) パート
窪山 有紀 (児童指導員) パート
北村 登代子 (保育士) 6月末付け退職

行事予定

8月 13日(金) 15日(日) 夏季休暇のため休園

21日(土) 避難訓練

23日(月) 発達障害に関する保護者学習会

9月 7日(火) 避難訓練

発達障害に関する保護者学習会

コロナウイルス感染症拡大防止のため福祉会及び各事業に関する行事を中止させて頂いております。ご理解の程よろしくお願い致します。

